

第 11 回ロビーコンサート報告

～明治のピアノ・大正のリードオルガン～ 受け継がれてゆく美しい音色♪

記録的猛暑だった夏も終わり、懸念されていたお天気も、この日は涼風の吹く秋晴れの日となりました。

開場時間の 10 時を過ぎると、このコンサートのために準備万端を整えた母校のロビーには、来賓の方々をはじめ大勢の皆様が次々と来場されました。

そして開演、音楽部の生徒による合唱でコンサートの幕開けです。

藤森先生の指揮でつんく作詞・上田真樹作曲「ポジティブ太郎～いつまでもどこまでも～」から始まり、川崎洋作詞・松下耕作曲の「鳥」、大村はま作詞・藤沢紫明作曲の「ひなまつり」と続きます。

「ひなまつり」は諏訪高等女学校の時代、本校で国語教師として教鞭をとられ、その後国語学者として知られるようになった大村はま先生の作詞によるもので、諏訪高女の時代から女子高だった頃の二葉生によって歌い継がれてきた懐かしい歌です。

音楽部生徒の若く瑞々しい歌声がロビーに響くとき、この学び舎に共に集ったかつての少女の一人として、想いを馳せた方も多くいらしたことでしょう。



音楽部に続き大正のリードオルガンの演奏が、高校 41 回生の田中花絵さんによって奏でられます。

いくつものストップを自在に操り、多彩な音色で奏でられたバッハのメヌエットや小フーガは、聴く人の心に深く浸みた事と思います。

音楽教師として二葉高校に在籍され、このオルガンの修復にも関わられた田中さんから当時のお話を伺った後、会場に集まった人皆で合唱した「ふるさと」は、

どこか懐かしいオルガンの音色と相まって、暖かく広がっていきました。



さて、休憩時間を挟んで、高校 33 回生の安藤美季さんによる松本ピアノの演奏です。

ロビーコンサートでたびたび演奏していただいておりますが、今回もリュリやグノーなどの曲を、このピアノのチェンバロ機能を駆使して弾いてくださいました。



本来音の出る仕組みが異なるピアノとチェンバロ、この二つの音色を一台で実現した松本ピアノの素晴らしさを改めて多くの方が感じたと思われまます。

続いてショパンのノクターンと幻想即興曲は、繊細な弱音から迫力のクレシエンド！一気に聴かせる勢いのある演奏に息を呑みました。

続いて同じく 33 回生であり、安藤さんと同級生の五味さち子さんが登場し、皆様によく知られた映画音楽等のデュオを、お二人の息ピッタリに演奏してくださいました。



今回のロビーコンサートでは、従来二葉祭の折りに展示しておりました懐かしいお雛様を飾り、大村はま先生の歌に色を添えました。



また節目に同窓会が作っていた宮先生、二木先生デザインの懐かしい手拭い、在校生の手による二葉祭の手拭いも初めて展示いたしました。お陰様で好評をいただく事が出来ました。

今回のロビーコンサートを通じ、100 年を経た明治のピアノ、大正のリードオルガン、お雛様等々、母校に伝わる生きた伝統の灯を、これからも大切に守っていく使命を感じました。

最後になりましたが、毎年このように盛大なロビーコンサートが出来ますことは、校長先生をはじめとする先生方、PTA の方々のご協力、そしてご来場くださる皆様のお陰であればこそこの事、ここに感謝申し上げます。

武藤記